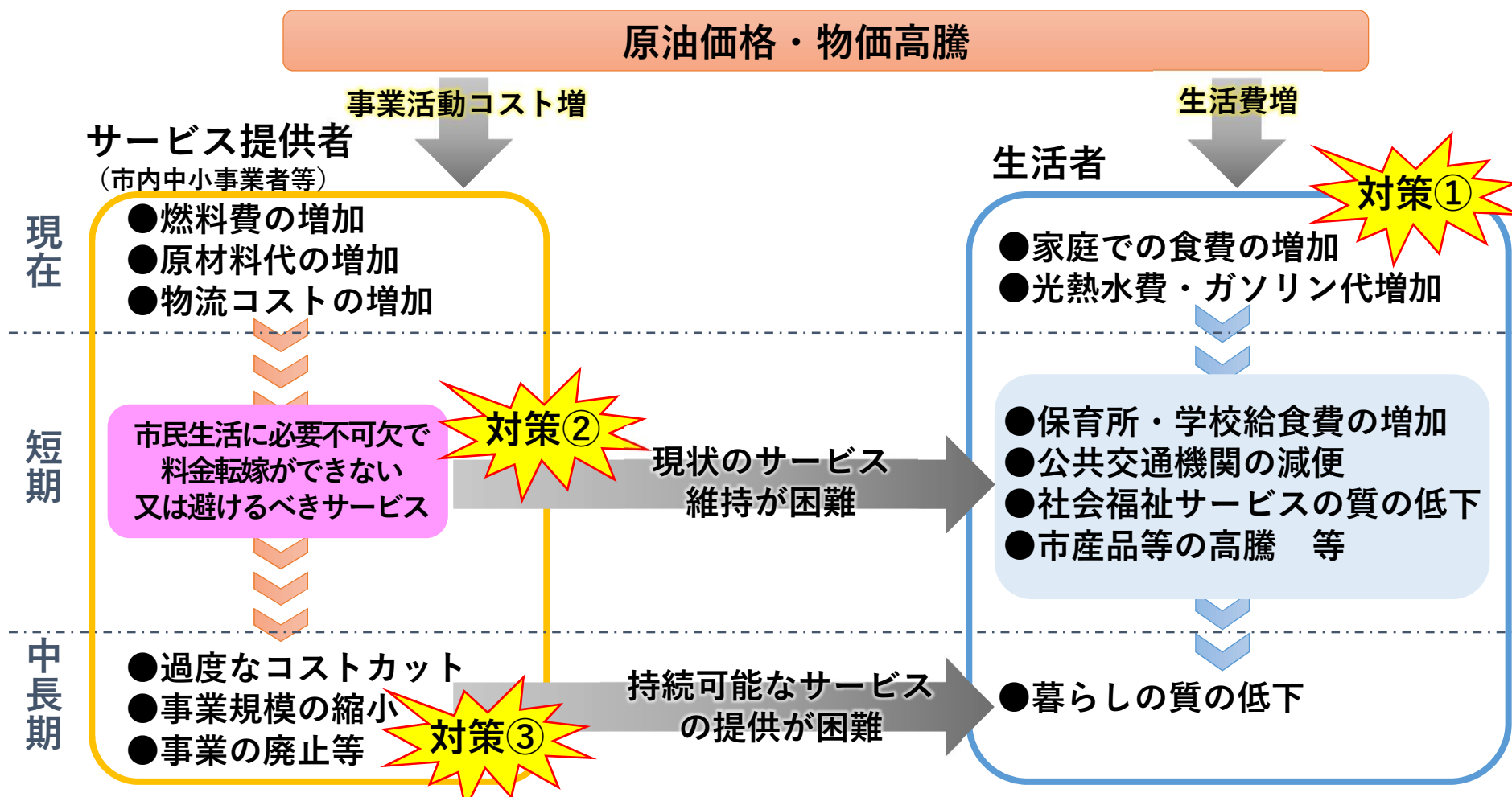


# 原油価格・物価高騰対策の基本方針



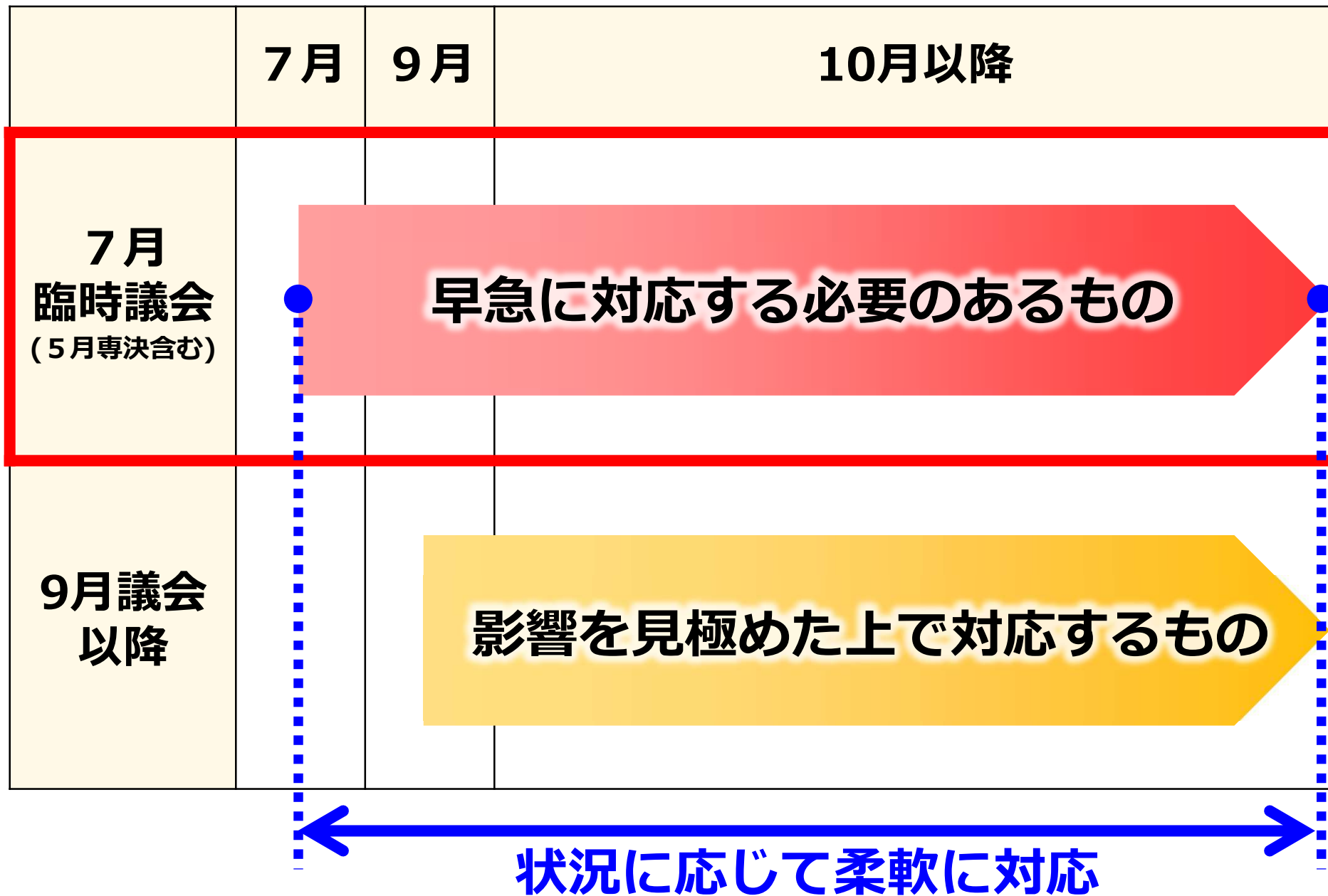
## 3本柱による対策

対策①：国や県の支援が行き届いていない生活困窮者への支援

対策②：市民生活に必要不可欠であり、料金転嫁ができない又は料金転嫁を避けるべきサービスの維持を支援

対策③：再エネ・省エネ設備への転換やDXによる生産性向上を後押しし、経営基盤を強化

# 原油価格・物価高騰対策 予算計上のタイミングの考え方



# 7月補正予算の全体像

対象		予算化済み	7月補正（案）	
原油価格・物価高騰対策	生活者支援	子育て世帯	◆子育て世帯生活支援特別給付金（5月専決） ◆子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費（284,170千円） ◆保育所等副食費対策（48,741千円） ◆学校給食費対策（33,388千円）	
		生活困窮世帯	◆生活困窮者自立支援金（既定予算対応） ◆住宅確保給付金（既定予算対応）	
		計	366,299千円・・・①	
	事業者支援	公共交通事業者	◆公共交通確保支援金（103,321千円） ◆公共交通次世代車両等導入費補助金（26,848千円）	
		漁業者	◆漁業用燃油価格高騰対策費補助金（63,200千円）	
		農業・畜産業者	◆施設園芸等燃油価格高騰対策費補助金（8,990千円） ◆肥料価格高騰対策費補助金（18,526千円） ◆地域特産農産物生産高度化支援事業費補助金（17,000千円） ◆施設園芸省エネルギー推進事業費補助金（36,000千円） ◆畜産配合飼料価格高騰対策費補助金（5,020千円）	
		計	278,905千円・・・②	
	小計			①+②=645,204千円
	ポストコロナ対策	DXの推進	◆マイナンバーカード普及促進キャンペーン事業費（273,604千円） ◆観光施設等キャッシュレス化推進費（1,787千円） ◆教育ICT推進費（アクセス・イント・電子黒板等）（106,920千円） ◆新市庁舎大型ディスプレイ整備（24,900千円）	
		既存産業の基盤強化	◆地域特産農産物生産高度化支援事業費補助金（23,000千円） ◆矢上バス停留所整備費補助金（11,820千円）	
21世紀の交流都市への転換		◆観光地域づくり推進費（インバウンド誘客）（15,444千円） ◆観光資源魅力推進費（さるく説明板）（1,834千円）		
計		459,309千円・・・③		
その他			◆里道等整備事業費（18,500千円）・・・④	
			①+②+③+④=1,123,013千円	

# 原油価格・物価高騰対策(生活者支援)

## 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費 (就学援助等世帯分)

2億8,417万円

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食料品等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯のうち、国の給付金の支給対象になっていない就学援助費受給世帯及び同様の水準にある世帯の方に対し、長崎市独自の生活支援を行います。

※子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯・その他世帯)支給対象世帯を除く。

### 【対象児童見込数】

1 就学援助費受給世帯	
(ア)小・中学生	2,700人
2 就学援助費受給世帯相当	
(ア)未就学児	1,800人
(イ)高校生	1,000人
(ウ)特別児童扶養手当対象児童	20人
	計5,520人

### 【給付額】

対象児童一人当たり5万円

### 【支給開始時期】

令和4年9月上旬

### 【就学援助費受給世帯相当の例】

世帯の令和3年中の合計所得額が基準額(下表)以下の者

世帯人数	3人	4人	5人
基準額	2,514,000円	2,802,000円	3,237,000円

# 原油価格・物価高騰対策(生活者支援)

<b>給食・副食費対策</b>	<b>8,212万9千円</b>
民間保育所等副食費支援交付金	4,717万3千円
市立保育所費運営費	127万2千円
市立認定こども園費運営費	29万6千円
給食食材等調達費	3,338万8千円

学校給食や保育所等の副食における食材の価格高騰相当分を市が負担することにより、子育て世帯を支援するとともに、栄養バランスや量を保った給食の提供を維持します。

**【対象】** 市内民間保育所・認定こども園等  
市立保育所・認定こども園  
市立小中学校



# 原油価格・物価高騰対策(事業者支援)

## 公共交通確保支援金

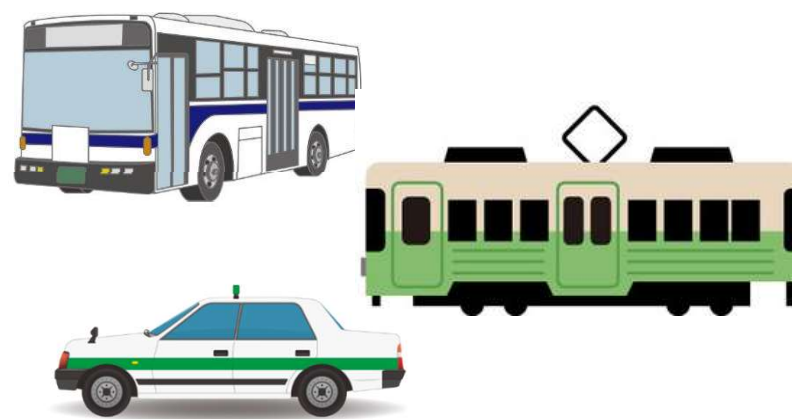
1億332万1千円

新型コロナウイルス感染症により利用者が減少し、燃料価格が高騰する中でも、引き続き市民生活の足として運行の確保に努めてもらうため、公共交通事業者に対し緊急的に支援を行います。

**乗合バス・路面電車・タクシー事業者** に対し、引き続き市民の移動を支えるための運行費用として、**市が支援金を交付**します。

**【支援額】 公共交通事業者の「保有台数」に応じて算定**

区分	対象数	単価 (/台)	予算額
乗合バス	2者	13万円	8,827万円
路面電車	1者	9万円	621万円
タクシー	313者 ※個人タクシー 275者含む	7千円	884.1万円



# 原油価格・物価高騰対策(事業者支援)

## 公共交通次世代車両等導入費補助金

2,684万8千円

輸送事業の安定化による市民の移動手段の維持・確保、並びにゼロカーボンシティ長崎の実現のため、燃料高騰の影響を受けにくい電気自動車やハイブリット車等を導入する公共交通事業者に対して補助を行います。

**ハイブリッドバス**や**EV車両**を導入する**交通事業者** に対し、  
**市が支援金を交付**します。

### 【支援額】

補助対象	補助率	見込数	予算額
①ハイブリッドバス	通常車両との差額（グレードアップ部分）の事業者負担分※の1/2	10台	1,798万円
②EV車両（タクシー） 【限度額22.5万円/台】		20台	450万円
③充電設備（急速）	充電設備本体価格の1/4	5基	362.5万円
④充電設備（普通）		15基	74.3万円



※国庫補助相当額を除く



# 原油価格・物価高騰対策(事業者支援)

施設園芸等燃油価格高騰対策費補助金	899万円
漁業用燃油価格高騰対策費補助金	6,320万円

燃油価格の高騰により多大な影響を受けている農業者・漁業者の活動の継続と経営の安定を図るため、燃油等の購入に対する支援を行います。

## 【補助対象者】

市内に住所(法人の場合は本店)を有する農業、漁業を営む者(法人を含む)で、施設園芸セーフティネット構築事業、漁業経営セーフティネット構築事業に加入している者(ただし、漁業の場合は、水揚地区等の要件あり)

## 【補助金額】

1リットル当たり10円 (漁業:上限500万円)

## 【補助対象期間など】

令和4年1月1日から令和4年12月31日までに購入した  
農業用燃油(A重油、灯油)及び漁業用燃油(A重油、軽油、ガソリン)





## 原油価格・物価高騰対策(事業者支援)

**肥料価格高騰対策費補助金**

**1,852万6千円**

**畜産配合飼料価格高騰対策費補助金**

**502万円**

農業用肥料及び畜産用配合飼料の価格高騰が経営に多大な影響を与えていることから、農業経営者及び畜産経営者の負担軽減を図るため肥料等の購入費の一部を補助するもの。

### 【補助対象者】

肥料：市内に住所を有する認定農業者、認定新規就農者 又は 実質化された人・農地プランに位置づけられた中心経営体

飼料：市内に住所を有する畜産業を営む者であり、配合飼料価格安定制度に加入している者

### 【補助金額】

肥料：増加分の2分の1 10a当たり補助上限37千円

飼料：1トンにつき200円

### 【補助対象期間など】

令和4年1月1日から12月31日までに購入した肥料及び配合飼料



# 原油価格・物価高騰対策(事業者支援)

## 【単独】農業振興施設整備事業費補助金

施設園芸省エネルギー推進施設 3,600万円

地域特産農産物生産高度化支援施設 1,700万円

原油価格高騰の長期化が懸念される中、施設園芸における省エネ設備等の導入を推進し、安定的で環境に配慮した農業経営の推進を図る。

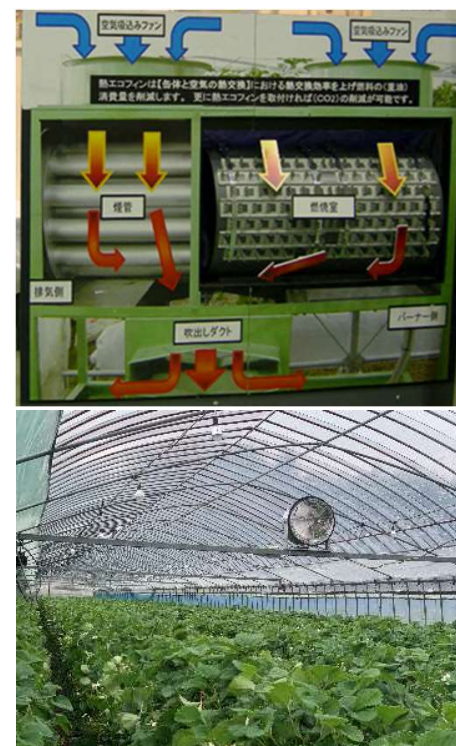
### 【補助対象者】

農業者の組織する団体又は認定農業者・認定新規就農者の組織する団体

### 【補助対象事業】

温風暖房機省エネ対策設備、環境測定装置、自動換気装置、循環扇、保温資材等

【補助率】 対象事業費の3分の2



# コロナ禍からの社会・経済の復興(ポストコロナ対策)

マイナンバーカード普及促進キャンペーン事業費  
2億7,360万4千円



マイナンバーカードの取得促進と行政手続のオンライン化の普及拡大、さらに地域経済の活性化を図るため、マイナンバーカードを活用した電子申請で応募する「**マイナンバーカード普及促進キャンペーン**」を実施する。

対象者 : マイナンバーカードをお持ちの長崎市民

賞品 : 長崎市の特産品

(5,000円までのふるさと納税返礼品)

※その他 体験型の賞品も準備中!!

当選数 : 40,000人

応募期間 : 令和4年10月~12月 ※賞品発送は2月頃の予定



9月末までのマイナンバーカード申込みで、マイナポイント第2弾にも応募可!!

最大20,000円分



# コロナ禍からの社会・経済の復興(ポストコロナ対策)

## インバウンド再開に向けた取組み 1,906万5千円

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い停止していた訪日外国人観光客の受入が、6月10日から条件付きで再開された。今後の訪日個人旅行解禁も視野に入れ、ポストコロナに向けたインバウンド誘客・受入についての取組みを加速させるもの。

### 観光地域づくり法人(DMO)を中心とした誘客促進と受入環境の整備

#### 【主な事業内容】

- ・海外旅行社等へのセールス活動
- ・海外への情報発信
- ・セールスツール等の整備(多言語化等)
- ・観光施設へキャッシュレス決済システム導入  
(池島炭鉱体験施設、亀山社中記念館 等)
- ・新しい生活様式に対応した周遊型観光の基盤整備  
(QRコードによる、さるく説明板の拡充・機能強化)





# コロナ禍からの社会・経済の復興(ポストコロナ対策)

## 矢上バス停留所整備費補助金

1,182万円

路線バス(東部地区)のハブ&スポーク型運行の乗り継ぎ拠点となる「矢上バス停留所」で、今後、利用者が多い時間帯にも密を回避しつつ、快適に乗り継ぎができるよう、当該バス停を整備する事業者に補助を行います。

**概要** 交通事業者によるバス停留所整備費の支援  
**対象者** 長崎県交通局  
**事業時期** 令和4年度

現況



整備後 (イメージ)

